



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部本部長

(氏名) 高見 輝

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	185,147	2.1	4,958	11.9	5,324	4.6	3,400	△3.2
27年3月期第1四半期	181,337	5.8	4,431	6.3	5,089	△0.3	3,512	△0.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,123百万円 (△24.0%) 27年3月期第1四半期 6,738百万円 (△23.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	26.77	—
27年3月期第1四半期	27.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	544,409	290,409	52.2	2,237.93
27年3月期	546,525	287,500	51.5	2,215.18

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 284,288百万円 27年3月期 281,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		16.00	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	823,000	8.3	19,500	7.4	20,600	1.1	12,100	6.9	95.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	127,408,285 株	27年3月期	127,408,285 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	376,612 株	27年3月期	376,363 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	127,031,790 株	27年3月期1Q	127,032,637 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9
(1) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、良好な企業収益を背景に個人消費の回復が見られるなど、緩やかな回復基調が継続しました。世界経済は、米国では景気回復が続いているものの、中国では経済成長が鈍化し、景気の悪化が懸念されるなど、一部では不透明な状況が見られます。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の業績は、国内販売は900億3千万円（前年同期比△3.3%）、海外販売は951億円（同+7.8%）となり、売上高は1,851億4千万円（同+2.1%）となりました。

利益面につきましては、主に海外子会社における売上高の伸長により、売上総利益は235億2千万円（同+5.9%）、営業利益は49億5千万円（同+11.9%）となりました。経常利益は、持分法投資損益が悪化したこと等により、53億2千万円（同+4.6%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比較して税金費用が増加したこと等により、34億円（同△3.2%）となりました。

② セグメント別の概況

機能素材

機能素材につきましては、米州および中国等海外全体で売上は増加しましたが、国内では減収となり、全体として売上は減少しました。

機能化学品事業は、中国や米州において売上は増加したものの、国内においては自動車生産台数や住宅着工の低迷を受けて塗料原料およびウレタン原料等の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

スペシャリティケミカル事業は、油剤や半導体関連など電子業界向けケミカルが堅調に推移しましたが、建材用途原料などが低調に推移したことにより、事業全体として売上は前年並みとなりました。

この結果、売上高は404億3千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、13億4千万円（△3.2%）の減収となりました。一方、営業利益は、海外での増収および利益率の改善等により、11億1千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、1億1千万円（+11.8%）の増益となりました。

加工材料

加工材料につきましては、国内での売上は前年並みとなったものの、北東アジア、東南アジアおよび欧米での売上が増加したことから、全体として売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、液晶テレビ反射板用材料および導電性材料等の売上は減少したものの、顔料・添加剤、情報印刷関連材料、光学反射防止シートおよび合成樹脂等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・家電業界への合成樹脂の販売を中心とする事業は、国内での売上は微減となったものの、北東アジアおよび東南アジアでの売上が増加したことにより、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は649億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、50億6千万円（+8.5%）の増収となりました。営業利益は13億3千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、3億3千万円（+33.1%）の増益となりました。

電子

電子につきましては、欧米での売上は増加したものの、国内および北東アジアでの売上が減少し、全体として売上は減少しました。

電子化学品事業は、液晶パネル製造用薬液等の売上が減少したものの、重電・弱電業界向けの変性エポキシ樹脂関連の売上が増加し、事業全体として売上は増加しました。

電子資材事業は、タッチパネル部材およびLED関連部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は298億9千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、49億6千万円（△14.2%）の減収となりました。一方、営業利益は、海外製造事業における利益率の改善等により、15億2千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、8千万円（+6.2%）の増益となりました。

自動車・エネルギー

自動車関連の事業は、国内においては自動車生産台数の減少の影響を受け売上は低調となりましたが、海外において米州、中国および東南アジアが全体的に好調に推移し、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は286億8千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、30億1千万円（+11.7%）の増収となりました。一方、営業利益は、販売会社における一般管理費増加の影響もあり、5億5千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1千万円（+3.6%）の増益に留まりました。

生活関連

生活関連につきましては、国内での販売が好調となり、また、海外でも売上が増加したことから、全体として売上は増加しました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において自社製品であるトレハ[®]等は国内、海外ともに売上が増加し、酵素製品も売上が増加しました。スキンケア・トイレットリー分野は自社製品であるAA2G[®]は主要顧客に対する売上が増加し、同分野での原料販売も好調に推移しました。医薬・医療分野では、原薬・中間体の売上は前年並みとなりましたが、医療材料の売上は低調となりました。以上の結果、事業全体として売上は増加しました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、新商品の販売が好調であったものの、従来商品の販売が低調であったことから、事業全体として売上は前年並みとなりました。

この結果、売上高は209億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、20億5千万円（+10.9%）の増収となりました。一方、営業利益は、製造子会社での新工場稼働に伴う費用の増加等もあり、9億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、6千万円（△5.8%）の減益となりました。

その他

特記すべき事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ、18億6千万円減少の3,279億7千万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、2億4千万円減少の2,164億3千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、21億1千万円減少の5,444億円となりました。

負債は、買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ、50億2千万円減少の2,539億9千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益34億円の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、29億円増加の2,904億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.5%から0.7ポイント増加し、52.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,575	39,362
受取手形及び売掛金	208,209	208,534
商品及び製品	63,719	63,196
仕掛品	1,668	1,829
原材料及び貯蔵品	3,625	3,794
繰延税金資産	4,058	3,704
その他	8,797	8,509
貸倒引当金	△806	△952
流動資産合計	329,848	327,978
固定資産		
有形固定資産	66,774	66,820
無形固定資産		
のれん	27,626	27,259
技術資産	16,942	16,548
その他	4,276	4,302
無形固定資産合計	48,844	48,109
投資その他の資産		
投資有価証券	92,638	93,387
長期貸付金	1,139	1,141
繰延税金資産	2,381	2,080
その他	6,277	6,312
貸倒引当金	△1,378	△1,422
投資その他の資産合計	101,058	101,499
固定資産合計	216,677	216,430
資産合計	546,525	544,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,737	100,438
短期借入金	31,388	33,596
1年内返済予定の長期借入金	6,377	7,179
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	2,268	1,400
繰延税金負債	19	33
賞与引当金	4,314	2,297
役員賞与引当金	213	66
その他	16,105	16,043
流動負債合計	176,424	161,055
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	30,322	30,445
繰延税金負債	20,272	20,485
退職給付に係る負債	10,803	10,882
その他	1,201	1,130
固定負債合計	82,600	92,943
負債合計	259,025	253,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,654	11,654
利益剰余金	205,203	206,689
自己株式	△228	△229
株主資本合計	226,328	227,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,920	45,604
繰延ヘッジ損益	3	△9
為替換算調整勘定	9,478	10,371
退職給付に係る調整累計額	666	506
その他の包括利益累計額合計	55,069	56,473
非支配株主持分	6,102	6,121
純資産合計	287,500	290,409
負債純資産合計	546,525	544,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	181,337	185,147
売上原価	159,112	161,619
売上総利益	22,224	23,527
販売費及び一般管理費	17,793	18,568
営業利益	4,431	4,958
営業外収益		
受取利息	49	62
受取配当金	590	623
受取賃貸料	65	74
持分法による投資利益	172	-
為替差益	14	-
その他	113	115
営業外収益合計	1,006	876
営業外費用		
支払利息	264	255
持分法による投資損失	-	8
為替差損	-	61
その他	83	185
営業外費用合計	347	510
経常利益	5,089	5,324
特別利益		
固定資産売却益	14	1
投資有価証券売却益	-	36
特別利益合計	14	38
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	16	31
減損損失	37	9
投資有価証券売却損	0	9
出資金売却損	20	-
特別損失合計	76	50
税金等調整前四半期純利益	5,027	5,312
法人税、住民税及び事業税	871	1,046
法人税等調整額	532	692
法人税等合計	1,404	1,739
四半期純利益	3,623	3,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,512	3,400

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	3,623	3,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,867	680
繰延ヘッジ損益	3	△13
為替換算調整勘定	△573	1,031
退職給付に係る調整額	△72	△159
持分法適用会社に対する持分相当額	△110	11
その他の包括利益合計	3,114	1,550
四半期包括利益	6,738	5,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,677	4,805
非支配株主に係る四半期包括利益	60	318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への売上高	41,786	59,905	34,860	25,669	18,921	181,143	193	181,337	-	-	181,337
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	797	557	191	671	68	2,286	1,308	3,594	-	△3,594	-
計	42,583	60,462	35,052	26,340	18,990	183,429	1,502	184,931	-	△3,594	181,337
セグメント利益又は 損失(△)	993	1,000	1,437	538	1,039	5,009	63	5,073	△786	144	4,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への売上高	40,439	64,974	29,899	28,680	20,977	184,971	176	185,147	-	-	185,147
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	510	573	188	625	106	2,003	1,371	3,374	-	△3,374	-
計	40,949	65,547	30,088	29,305	21,083	186,974	1,547	188,522	-	△3,374	185,147
セグメント利益又は 損失(△)	1,110	1,331	1,526	558	978	5,506	40	5,547	△715	126	4,958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	49,453	27,506	7,663	3,607	88,229
II 連結売上高(百万円)					181,337
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.3	15.2	4.2	2.0	48.7

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	55,679	26,940	7,922	4,565	95,108
II 連結売上高(百万円)					185,147
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	30.1	14.6	4.3	2.4	51.4

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国または地域
 (1) 北東アジア・・・・台湾、中国
 (2) 東南アジア・・・・シンガポール、タイ
 (3) 北米・・・・米国
 (4) 欧州・他・・・・ドイツ